

# LETTER

GraSPP  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

Contents

- 1ページ よこそGraSPPへ!～2019年4月 新入学生84名を新たに迎える～
- 2ページ 留学特集「留学経験者の体験談」
- 3ページ 学生インタビュー
- 4ページ GraSPP学生自治会の活動紹介&TOPICS

## ようこそGraSPPへ!～ 2019年4月 新入学生84名を新たに迎える～



GraSPPオリンピックで交流を深めた新入生たち

2019年4月3～4日に、2019年度公共政策学教育部入学ガイダンスが行われました。今年の4月入学者は84人。3日は高原明生院長からの歓迎の言葉に続いて、学校生活についての各種ガイダンスや関係施設のツアーを行いました。4日は午前中に本郷キャンパス御殿下記念館にて学生自治体主催の新入生歓迎行事「GraSPPオリンピック」が行われました。初めは少しこちない雰囲気もあった新入生たちでしたが、日本人学生が留学生に競技の説明をするなど、スポーツを通してチーム内での自然な交流が生まれました。一緒に汗を流すことで、生き生きとした笑顔が飛び交う、和気藹々とした時間を過ごしました。



2019年4月入学者は84人



GraSPP Policy Competitionでは優秀なグループを表彰した

4日の午後は午前とは一転して、屋内でのグループワーク「GraSPP Policy Competition」を行いました。今回のディスカッションテーマは「1. How to encourage Japanese students to study abroad?」「2. How to stimulate the interaction between international students and Japanese students?」「3. How to encourage students to study SDGs?」の3つ。新入生はグループ毎に白熱した議論を交わし、意見をまとめて発表しました。夜の交流会では発表内容について審査・投票し、優秀グループを表彰しました。



坂本 賢太郎さん

私はキャンパスアジア課程の一環として、北京大学に一年、ソウル大学に半年留学しました。留学で得られた最大の財産は人脈です。別段、当初から人脈形成云々を考えていたわけではなく、ただ友達や先生方と共に学び、激論を交わし、たまに遊び騒いで思い出を作っただけなのですが、結果としてこれが強固な人間関係へとつながりました。北京大・ソウル大ともに政治家・官僚・起業家・学者等を目指す人で溢れているので、知り合いの中から将来著名人が出て驚きません。中国を中心にアジアの興隆が確実視される中、数十年先にこの関係がどう生きてくるのか楽しみです。

とはいえ、留学したいけど就活が不安という方もいるでしょう。しかし、英語に加えて現地語力を磨き、面接対策をしたうえで海外キャリアフォーラムを利用すれば、短期間（場合により一日！）で大量の内定が取れることも珍しくありません。中国・韓国の最高峰大学を卒業する日本人は珍しいので、確実に武器になります。私もそうして、政策系シンクタンクに就職が決まりました。このシンクタンクは北京大における私の指導教授が関係を持っている機関でもあり、早速、在学中に構築した人間関係が生きてきています。



Anaïs BRIAULTさん

In 2017, while I was studying at The University of Tokyo as an exchange student during my undergraduate studies, I decided to apply for the dual-degree program between Sciences Po Paris and GraSPP. In April 2017, I received the admission email and a year and a half later, I was back in Tokyo.

The dual degree was a great opportunity to combine the study of the French defense environment at Sciences Po and the study of international relations with a focus on security issues at GraSPP. Besides attending classes, I was selected to represent The University of Tokyo at this year's Global University Challenge at the World Government Summit in Dubai – a memorable experience – and produced a research paper on Japan's defense industry with the help of my peers, teachers and colleagues at Crisis Intelligence.

In June 2018, I was lucky to meet a Japanese company named Crisis Intelligence at Eurosatory, France's biggest defense and security exhibition. Back in Japan, I joined them as a part-time employee in charge of international accounts. This allowed me to visit the Japanese Ministry of Defense, the National Police Agency and Tokyo's metropolitan police agency as well as to travel abroad. After graduating, I will continue working there as a full-time employee before going back to France to hopefully work in the same sector. I believe this experience at and outside GraSPP allowed me to have a clearer view of the professional goals I would like to pursue in the future.



山本 一真さん

私はダブルディグリープログラムを通じて、1年弱にわたりコロンビア大学国際公共政策大学院（SIPA）へ留学しました。このような貴重な経験をさせていただいたこと、そしてGraSPP関係者・友人・ロータリー財団・JASSOなど様々な形でご支援いただいた皆様に深く感謝しております。留学先では開発経済学やビッグデータ分析などを主に学びましたが、特に印象的だったのはキャップストーンプロジェクトです。これは学生が5人程度のグループで、企業やNGOなどに対するコンサルティング業務に従事するというものです。私が参加したプロジェクトでは世界銀行をクライアントに、「東アフリカの小規模農家の金融アクセス改善のためにIoT・AI・ブロックチェーンなどの最新技術がいかに活用できるか」という

テーマで調査を行いました。多様なメンバーと協調して、先進的且つ難解なテーマで調査を進めるのは決して容易ではありませんでしたが、プロジェクトを通じて多くを学びました。今後はコンサルティング会社にて、企業の途上国進出に際する戦略策定支援・M&Aアドバイザーなどの業務に従事する予定です。SIPAとGraSPPで得た知見を活かし、途上国の発展に少しでも貢献できたらと思います。



# 学生インタビュー

## 第31回

### チェ シアさん

(専門職学位課程経済政策コース1年)



#### —東大には学部1年生から入学されたんですよね

両親が留学を勧めてくれて、高校3年生の時に文科省のプログラムに挑戦しました。幸いにも合格したので、予備教育として1年間東京外語大学で日本語を学んだ後、先生方の層が厚く、図書館も充実している東京大学の経済学部に入りました。学部に入學した時、女性が非常に少ないことに非常に驚きました。さらに留学生も私の学部では5%しかいなかったもので、留学生で女性である私は、自分がとてもマイノリティな存在だと感じていました。でも今年GraSPPに入學してみたら、国籍や年齢など様々なバックグラウンドの人たちが集まっているので、自分がマイノリティだと感じる事が一切なくなりました。まだ名前を知らない相手だとしても、「今の授業、難しかったねー」と気軽に話せる雰囲気があるところが好きです。あと、最近、女性エンパワーメントの自主サークルを学生が作ったそうで、問題意識を持った学生が多いのも面白いです。

#### —たしかにGraSPPは学生の国籍も年齢が多様ですよ

多様な人が集まると意見も異なりますが、それは話し合えば解決するので建設的だと思います。何をもち「国際的」とするか、定義は色々ありますが、私はお互いの国籍で区別や判断をしないコミュニケーションが「国際的」の一つの大きな要素ではないかと思っています。もちろん、「韓国人」で「女性」だという私を構成しているものはありますが、そのような国籍や性別をというフィルターを外して会話ができる関係性がベストじゃないかと思うんです。例えば、これは人それぞれかもしれませんが、初めて会う人に自分を紹介してもらう時、私は「こちらは韓国人留学生のシアちゃんです」ではなく、「友達のシアちゃん」と紹介してもらう方が嬉しいです。もちろん、最初の自己紹介では国籍が話題に出るかもしれませんが、その後は「もっとあなたと話したい」という思いで、相手と通じ合っていけたらいいなと思います。私は日本に住んでもう6年になりますが、まだまだ日本について知らないことが沢山あるので、「日本人ってこうだね」「日本はこうだね」と勝手に判断して話すことはできません。同じように、「中国はこうだ」「アメリカはこうだ」といった所謂ステ

レオタイプの考え方を持たなくなったのは、日本に留学してよかったことの一つかもしれません。

#### —なぜ経済学を専攻したのですか？

経済学に興味を持ったのは高校生の時にやっていたボランティア活動がきっかけです。貧困問題に関心があったので、靴がないという物理的な問題で学校に通えないアフリカの子供たちに靴を届ける活動をしていました。寄付を集めて新品の靴を買って送るだけだと輸送途中で色々な問題が起きて、ちゃんと子供に届かないケースがあるため、私たちは白い靴に素敵な絵を描いて、それを届ける活動をしていました。なぜ貧困が生じたのか、なぜ過去の政策が有効ではなかったのか等を考えるうちに開発経済に興味を持ち、学部だけでは勉強がまだ足りないと思って大学院に進学しました。まず今はしっかり勉強して自分を成長させて、将来的には社会貢献ができる仕事に就けたらいいなと思います。(インタビュー・文責 編集担当)



友人との旅行



クラスメイトと

# GraSPP学生自治会の活動紹介

Shusei Yamamoto (MPP/IP)

2018-2019 GraSPP Student Council Public Relations Director

The 2018–19 batch of GraSPP Student Council kicked off in April 2018, with 5 fulltime members. We started off with a goal to further enhance the ties between students at GraSPP, as we felt that there was lack of events to bring together students outside of the classroom setting. With our aim in mind, we hosted numerous events in order to increase the interaction among students. One of the strongpoints of GraSPP is its diverse student population. I strongly believe that diversity is one of our strongest assets, therefore I made sure that our events were all hosted in both English and Japanese to further enhance connections and bonds between our students. As an officer in charge of public relations, I have made sure to attract as many students as possible, both Japanese and international. Therefore, I made a decision to introduce various social media platforms such as Instagram and Facebook in order to further reach out to the GraSPP student body.

Furthermore, we have also decided to introduce a survey to the students for the first time since the establishment of GraSPP Student Council. As an officer in charge of public relations, I felt that it was important to incorporate the needs and wants of the students in order to improve the overall academic and social life at GraSPP. With this survey, we have successfully managed to lobby the GraSPP Office to introduce a booking system at all discussion rooms, introduce hygiene products at the GraSPP lounge, as well as activating the card readers at entrances of GraSPP shared facilities area to improve security.



Our first event “Akasaka Trip” May 9th, 2018 @ Akasaka Palace

In terms of our activities, our first ever event was a bilingual quiz night. We split up the students into 8 different teams, with each group consisting of students of different policy streams and nationality. Around 70 students participated in this event, and it was a great success!

Our next event was a visit to the Akasaka Palace. This was a first ever excursion trip hosted by the GraSPP Student Council, and the turnout was very high! Once again, students from diverse policy streams and nationality attended this trip, and it was a wonderful opportunity for the students to further enhance the knowledge on history of Japanese politics and culture.

In terms of our academic events, we also hosted a joint seminar on security issues in East Asia with the Paul H. Nitze School of Advanced International Studies, Johns Hopkins University, based in Washington, D.C. The GraSPP Student Council also invited three professors from GraSPP: Dean Takahara, Prof. Takeuchi and Prof. Heng. This was a great opportunity to exchange different views regarding contemporary security issues surrounding East Asia. Many frank exchanges were made among students of GraSPP and SAIS, and we hope that this exchange will continue to the next generation of Student Council!



2018-2019 GraSPP Student Council Team Members



GraSPP-SAIS Joint Seminar on January 16th, 2019 @ SMBC Hall, UTokyo

## TOPICS

(1) 2020年度MPP/IPコース入学者募集中。詳細は以下のWebサイトよりご確認ください。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/mppip/>

(2) 10月19日(土)、東京大学のホームカミングデーのイベントとして、同窓会(龍岡会)との共催でGraSPP Alumni & Student Dayを開催します。



## 編集後記

今回は「学生」と「留学」にスポットを当てました。これまで「国際化」に力を注いできたGraSPPですが、その成果が感じられる今号となったのではないかと思います。日々の学びで得た知識と止まらない探求心、思いを実現する行動力を持つGraSPPerたち。彼らなら「これからの日本と世界をより良く創っていただけるはず！」と感じた、2019年の暑い夏でした。(編集担当)

vol.

55

NEWS  
LETTER

(編集・発行) 東京大学公共政策大学院 (発行日) 2019年8月26日

113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
E-mail [grasppnl@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:grasppnl@pp.u-tokyo.ac.jp)  
<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/>